

前回の都市計画審議会及び改定検討部会でのご意見

資料1-3

第212回都市計画審議会（令和4年10月28日開催）でのご意見とその対応

番号	ご意見	対応の方向性等	対応内容
1	現在ウクライナ問題が発生しているが、そういった時期に検討されたものだということがどこかに入っているのではないかな。	今後の参考	課題別戦略やエリア戦略の中ではなく、今回改定の背景などの中で触れていくことを検討します。
2	都が10年ぶりに直下地震の被害想定を見直した。戦略プランでも、何らかの対応をしないのか？	今後の参考	被害想定が変わっても、まちづくりの方向性は変わらないと考えます。
3	安全・安心の中で、小学校などに地下シェルターを考えるとこの視点が必要ではないか。	今後の参考	次回の改定の際に、改めて検討します。
4	デジタル化を進めると高齢者が取り残されてしまうので、対応が必要。	今後の参考	デジタル化を進めることに対する高齢者の方へのフォローアップは、高齢者を対象としたスマートフォン体験会の実施など都の事業などと連携しながら取り組んでいます。
5	単身高齢者や単身者の住まいが枯渇している。福祉の分野で対応してもらいたい。	今後の参考	頂いたご意見については、担当の部署に伝えます。
6	グリーンインフラの定義と合わせて、都市マスで示す「七つの都市の森」「水とみどりの環」「風のみち（みどりの回廊）」を戦略プランにも掲載したほうが良い。	修正	P27のグラフはP26の各戦略に対応しているため、現在の記載のとおりとします。都市マスタープランで示す「七つの都市の森」「水とみどりの環」「風のみち（みどりの回廊）」の図については、P26に追加します。
7	P27のグラフは、みどりの実態調査の地域別の緑被率のグラフでもよいのではないかな。	今後の参考	P27に掲載しているグラフは、達成度や進捗を確認するための指標ではなく、各戦略に対して参考となるものを掲載しています。そのため、「戦略 f 持続的に発展する都市の推進」については、二酸化炭素排出量の推移を掲載することが適切であると考えます。
8	新型コロナウイルス感染症対策ということで、「建物内のゆとりある交流空間づくり」は良いと思うが、さらに踏み込んで、図書館や地域センターなどの公共建築の中での、テレワーク空間や子どもたちの居場所づくりなどについても踏み込んで記載できないか。	既に対応済み	P32に感染症の拡大時にも対応した、公共空間づくりについて記載しています。なお、子どもたちの居場所づくりについては、感染症の流行に関わらず必要な施策であり、児童館、学童クラブ、放課後子どもひろばなどの取組を進めています。

9	緑被率も必要だが、緑視率も大切である。目標設定をしても良いのではないか。	既に対応済み	区は、緑被率だけではなく、緑視率も重要と考えています。緑視率という言葉は使用していませんが、緑視率の向上につながる屋上緑化、壁面緑化、接道部の緑化の誘導について記載しています。
10	緑化は中小企業では難しい。大企業が率先して推進してもらいたい。	既に対応済み	区の緑化計画書制度では、計画規模等に応じた緑化を求めているため、大規模な計画に対してより多くの緑化をするように指導しています。
11	「地球温暖化対策」は「気候変動対策」に置き換えたほうが良い。	今後の参考	<p>国は平成10(1998)年に「地球温暖化対策推進法」を成立し、地球温暖化対策として2050年カーボンニュートラル、自治体のゼロカーボンシティ宣言の実現などといった環境施策を進めています。気候変動については、平成30(2018)年に「気候変動適応法」が成立し、気候変動に適応するための取組みが進められています。</p> <p>現在、区が検討している「環境基本計画」の改定では、「地球温暖化対策」の中に「気候変動適応計画」を入れています。「地球温暖化対策」を「気候変動」とすると、区の施策の体系との整合が取れなくなってしまうため、現時点では現在の記載のとおりとしますが、引き続き国や都の動向を注視し、必要に応じて対応していきます。</p>
12	グリーンインフラは、必ずしも「みどり」だけではないという認識を持った方が良い。狭義のグリーンインフラも示唆しておいた方が良い。	修正	<p>・P21 3.豪雨対策の推進 ●取組み の上から5つ目の・ 「・緑化の推進や雨水を保水・浸透させるレインガーデンの整備などグリーンインフラを活用した、雨水流出抑制対策を進めます。」赤字部分を修正します。</p> <p>・「グリーンインフラ」用語解説文について、「～水辺空間等により構成されます。」赤字部分を追記します。</p>

13	来街者の方からすると、快適な空間や安全安心でわかりやすいまち、迷路的な楽しいまちが良いという方がいる。住んでいる方は、生活空間やインフラが大切で、明るく清潔な歩きやすい街が良い。滞留してしまう広場よりも、人の動きがあって両脇にお店や美術館など色々な施設がある「参道」的な歩いて楽しいまちなみが良い。緑化についていうと、壁面緑化などによる、自然を感じられる有機的なまちにすることが必要である。	既に対応済み	ご指摘の通りだと考えています。それぞれのまちの地域特性に応じたまちづくりを進めていきます。
14	新宿区民や新宿区へ来られる方に対して、安全・安心・豊か・持続的という4つの目的に、全ての項目がどうあてはまるのかとそれぞれの取組みについて考えている。	今後の参考	今後の参考とさせていただきます。
15	P51の写真のキャプションは、「新宿区広域避難場所」と入れたほうが良い。	修正対応	「 避難場所である明治神宮外苑地区 」に修正します。
16	P52②について、「みどりの保全や創出」とあるが、創出は不要ではないか。	既に対応済み	P52の①では神宮外苑地区に関する記事を記載し、②では地域全体に関する記事を記載するという整理をしました。そのため、本エリア全体において、みどりの保全・創出が必要だということを示すために記載しています。
17	P55③m「立体的・重層的な」は削除すべき。	修正	ご指摘のとおり削除します。
18	神宮外苑・信濃町駅周辺エリアや新宿駅直近エリアの開発計画で排出されるCO ₂ など、環境への負荷の懸念について記載した方が良い。	既に対応済み	個別の整備計画に関するCO ₂ の排出に関して記載はしませんが、P34のとおり、「ゼロカーボンシティ新宿の実現」を重点的な取組みに位置付け、区民・事業者・行政がそれぞれの立場で選択し、地球温暖化対策に取り組むこととしています。
19	神宮外苑について、名勝に指定することを課題として書けないか。	今後の参考	個別の場所の名勝指定について、まちづくり戦略プランには記載しませんが、区内の他の地域資源も含め、緑地の保全に取り組んでいきます。
20	環状第4号線や環状第5の1号線がもうすぐ開通する。開通後の沿道まちづくりや、防災まちづくりについて検討する必要がある。	今後の参考	幹線道路が開通すると防災性は向上しますが、各敷地から開通した幹線道路に至る道路(安全な避難経路)の整備が必要です。そのため、細街路の拡幅や、沿道まちづくりについても引き続き検討する必要があると考えます。

21	大きなタワーマンションが増えると、学校の教室や学童クラブが足りなくなるという課題がある。	既に対応済み	大規模な開発が想定される各エリアの「4-2 推進方策」には、「子育て支援施設や帰宅困難者の待機スペース、備蓄倉庫など区の施策に応じた機能の誘致や設置の要請」という項目を入れており、学童については、こちらの記載に基づき必要に応じて誘導していきます。
22	P96大久保通りは、非常に歩道が混雑しているため、交通安全の確保が問題となっている。また、補助第72号線の開通は、防災性の向上に寄与している。	修正	P95 「7 大久保・百人町エリア」4戦略 2. ① fに「・～安全で快適な歩行者空間の確保を図ります。」と赤字部分を追記します。
23	補助第72号線の開通と桜美林大学の新キャンパスができたことで、人の流れが変わり課題も生まれると思う。高齢者の方の事故がないように、引き続き安全対策を検討してもらいたい。	修正	P95 「7 大久保・百人町エリア」4戦略 2. ③ iに「・～安全で快適な歩行者空間のあり方の検討を行います。」と赤字部分を追記します。
24	高田馬場駅周辺エリアに、神田川の河川改修が遅れていることをかけないか？	既に対応済み	以下のとおり、「P21 課題別戦略 戦略b 3.豪雨対策の推進 ● 取組み の1つ目の・」に、未整備区間の河川整備について記載しています。
25	中井駅周辺に下落合駅周辺が追加されたが、下落合駅周辺の具体的な方向性について、記載が不足しているのではないか。	修正	<ul style="list-style-type: none"> ・ P108 3 主な課題に、「⑨西武新宿線と上落中通りの交差する踏切は、開かずの踏切であり、その周辺では渋滞が発生しているため対策が必要です。」を追記します。 ・ P110 4戦略 4-1 1②を「②歩行者ネットワーク・交通ネットワークの充実」と赤字部分を追記し、「e.開かずの踏切による渋滞対策のため、広域的な交通ネットワークについて検討します。」を追記します。 ・ P113 1③に「・開かずの踏切による渋滞解消のための、連続立体交差化の推進や広域的な交通ネットワークの充実」を追記します。 <p>また、P108の写真を差し替え、P111 2②に「i.妙正寺川沿いでは、染色業などの地場産業と調和した、潤いのある河川景観の創出を図ります。」を追記します。</p>

26	新宿駅がどのように変わるのか強くPRしてほしい。	今後の参考	新宿グランドターミナルの再編に向け、区、東京都、鉄道事業者が協働して、関係団体へのインタビュー記事をインターネットで情報発信するとともに、街頭大型ビジョン等を活用した放映をするなど、広く周知に努めているところです。今後もこれまでの活動に加えて、工事中の仮囲いを活用したポスターの掲示や誰もが参加できるイベントとの連携など、様々な機会を捉えて周知活動に取り組んでいきます。
27	東急歌舞伎町タワーが来年4月に完成するが、今後は環境整備やシネシティ広場をいかに活用していくのかということが、歌舞伎町の将来にとって大変重要である。	今後の参考	東急歌舞伎町タワーは令和5年4月に開業する予定です。これを機に、TMOと連携した東急歌舞伎町タワーとシネシティ広場の一体的な活用により賑わいを創出していきます。
28	西早稲田駅周辺エリアは、住所としては大久保三丁目で地元感覚と違う。名称を再検討できないか。	今後の参考	西早稲田駅周辺エリアは、平成23年に地区内居住者や権利者に意見募集を行い策定された「西早稲田駅周辺地区まちづくり構想」のエリア名を準用し、設定しました。
29	現在エリア設定はされていないが、印刷工場の多い早稲田地区では、工場がマンションに建て替わりつつある状況である。その中で、既存の工場とまちとが調和しながら共存していけると良いと思うので、今後こうしたエリアをどうしていくのかということも、考えてほしい。	今後の参考	今回新たに追加したエリアは、地元のまちづくり活動が新たに始まったエリアです。ご指摘の早稲田地区における、まちづくりについても、今後地元の動向を踏まえ検討していきます。

第4回 新宿区まちづくり長期計画「まちづくり戦略プラン」改定検討部会（令和4年11月7日開催）でのご意見とその対応

番号	ご意見	対応の方向性等	対応内容
1	各エリアの「4-2 推進方策」で、景観に関する事項は「①土地利用」の中に入っているが、その場所で良いのか。「②建物」、「③公共空間」なのか、どの場所に入れるのが適切なのか。	質問へ回答	景観については、「①土地利用」の項目に入れることが適切だと考えていますが、ご意見を踏まえ、次回の改定の際には「4-2 推進方策」の各項目①土地利用、②建物、③公共空間などについて、再度整理を行います。
2	新宿駅直近エリアの「4-2 1.②建物」に、景観まちづくり計画及び景観形成ガイドラインでスカイラインの形成とあるが、実態としてできるのか？	質問へ回答	区は、景観まちづくり計画及び景観まちづくり条例に基づき、大規模建築物等については、景観まちづくり審議会へ報告しています。その中で、景観まちづくり計画への適合状況などを確認し、スカイラインについても適切に誘導していきます。
3	各エリアの「4-2 推進方策」に、みどりを増やすという項目があまり見当たらない。入れることはできないのか。	修正	「4-2 推進方策」の緑化については、16エリア中15エリアに記載しています。ご意見を踏まえ、現在記載されていない「5 外苑東通り沿道エリア」にも追記します。また、「景観」や「環境」に関する項目も改めて確認し、各エリアに記載するように修正します。
4	新宿駅直近エリアについて、「4 戦略」のページには、みどりの創出について記載があるが（P133 3.③）、「4-2 推進方策」（P135）にはあまり記載がない。「4-2推進方策」にも追記できないか？新宿駅直近エリアでは、人工地盤の上での緑化になるため、記載しないと緑化されないままになってしまうおそれがある。	修正	P135 ②建物の6つ目の・について、以下の赤字部分を修正します。 「・大規模な開発等の際の事前協議制度の運用による線路上空の広場空間や建物における重層的総合的な緑化の推進」 ③公共空間の3つ目の・について、以下の赤字部分を追記します。 「・東西自由通路や線路上空の東西デッキの整備等による東西をつなぐ軸の強化、新宿グランドターミナルを一体化し、駅とまち、まちとまちをつなぐ多層でみどり豊かな歩行者ネットワークの構築による、回遊性の向上」

5	「11 新宿駅周辺地区」内の各エリアの戦略図では、新宿駅の東西デッキの部分について、風のみち（みどりの回廊）と東西をつなぐ軸の形成の矢印が重なるように作図してもらいたい。	修正	ご意見を踏まえて、図を修正します。
6	風のみち（みどりの回廊）が新宿御苑の入口とつながるように作図すること。	既に対応済み	新宿御苑と「水とみどりの環」を結ぶ「風のみち（みどりの回廊）」は、明治通りに沿って作図されています。
7	P142など図上に、多くの図や吹き出しが記載されており、大変見づらいので、もう少し見やすくしてもらいたい。	今後の参考	表示する情報の整理や作図の方法については、次回の改定の際に改めて検討します。
8	大切なみどりは、色を濃くしてもらいたい。	修正	ご意見を踏まえて修正します。
9	P54の武蔵境駅の写真は、他の写真に差し替えられないか。	修正	信濃町駅の写真に差し替え、キャプションは「信濃町駅前」とします。
10	P51の「慶応義塾大学病院や慶応義塾大学信濃町キャンパス」は、「応」を「應」に修正すること	修正	ご指摘のとおり修正します。
11	P36「3.交通環境の整備の推進」について、AIやIoTなどといったスマートシティの観点で記載しないのか。ビッグデータの活用など、あるのではないか。	今後の参考	現在、東京都が西新宿で取り組んでいるスマートシティの状況を注視している状況です。区の出組については、今後の状況を見ながら検討していきたいと考えています。
12	課題別戦略にもエリア戦略にも、「推進方策（各主体の役割）」とあるが、事業者の役割の部分に「～します」と書いてある。既存のまちづくり組織などは良いと思うが、特に議論が進んでいないエリアの事業者に対して、突然これが事業者の役割だという事を示すのは唐突ではないか？どこかで説明したほうが良いのではないか？	既に対応済み	現行のまちづくり戦略プランP10に、区民・事業者・行政の役割分担等について記載しています。改定後も、こちらの記載内容を継承し、それぞれの役割を担いながら協働のまちづくりに取り組んでいくことを示していきたいと考えています。
13	全体を通して、水辺空間の写真が少ないのではないか。検討してもらいたい。	修正	全体的に再度確認し、水辺空間の写真等を増やしていきます。
14	P18に「3.空き家等対策の推進」とあるが、区の現状はどのようなものか。	質問へ回答	平成28年に実施した空家等実態調査の結果、区内の民間建築物は48,798棟あり、そのうち空家棟数は441棟、そして、ごみ屋敷（現在居住中で敷地内にごみ等が堆積しているもの）の棟数は10棟でした。その後の改善状況は、令和4年5月20日時点で6棟が改善済み、経過観察中が2棟、対応中が2棟という状況です。